

授業科目

公衆衛生看護学実習III

担当教員名 宇田 優子、杉本 洋、小山 歌子、稲垣 千文、和田 直子	対象学年	4	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	45

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	○	○

授業の概要

企業での保健衛生活動への参加と、それを後方支援する社会資源である産業保健総合支援センターの実習を通して産業保健を学ぶ。

授業の目的

産業看護活動の実際を学び、産業看護活動を展開する上で必要となる知識と技術を学ぶ。

学習目標

1. 企業における衛生管理体制と産業看護体制を説明できる
2. 労働衛生管理の基本を列記できる（作業環境管理、作業管理、健康管理）
3. 産業保健活動の実際を説明できる
4. 働く世代における健康意識や行動を理解する
5. 作業保健活動における看護職の役割を考察する

授業計画

授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1. 実習企業における健康管理体制等を学ぶ	実習	杉本 洋 他
2. 職場巡視などを体験する	実習	杉本 洋 他
3. 労働衛生管理の基本を学ぶ	実習	杉本 洋 他
4. 産業看護職の役割を考察する	実習	杉本 洋 他
5. 産業保健総合支援センターの機能・役割を学ぶ	実習	杉本 洋 他

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料						

評価方法

実習提出物、課題レポート、実習態度

履修上の留意点

成人期の健康課題と保健活動、産業保健活動のつながりを常に意識して事前学習・実習・まとめを行って下さい

オフィスアワー・連絡先

k 5 0 5 研究室
実習指導等で不在が多いので、来室時はメール等で事前に連絡して下さい

yuko-uda@nuhw.ac.jp